



七色のかがやき

長崎市立虹が丘小学校 学校便りNo.7
 令和7年 7月 1日(火)
 編集・発行責任者 校長 池田敏典
 E-mail e52@nagasaki-city.ed.jp
 G-mail nijigaoka@gmail.com

人の心を見つめる

「犬と私の10の約束」という映画や本があります。お母さんが入院するとき、主人公の少女が子犬を飼うことになり、お母さんから犬を飼うときの10の約束を覚えてもらいます。



その約束とは、次のようなものです。

- 1 私の話を我慢強く聞いてください。
※「私」とは、犬のことです。
- 2 私を信じて。私は、いつも、あなたの味方です。
- 3 私とたくさん遊んで。
- 4 私にも心があることを忘れないで。
- 5 けんかはやめましょう。
- 6 言うことを聞かないときは、理由があります。
- 7 あなたには、学校もあるし友達もいます。
でも、私にはあなたしかいません。
- 8 私が年をとっても仲良くしてください。
- 9 私は10年しか生きられません。だから、一緒にいる時間を大切にしましょうね。
- 10 あなたと過ごした時間を忘れません。
私が死ぬとき、お願いします。そばにいて。

私事で恐縮ですが、我が家にも3匹の犬がいます。この「10の約束」を肝に銘じて可愛がっているところです。ところで、よく考えますと、これは決して犬との約束だけでなく、「友達との約束」としても大切なことがあるように思えてなりません。

私の話を我慢強く聞いて、たくさん遊んで。いつもあなたの味方だから信じて。私にも心があるのです。けんかはやめましょう。言うことを聞かないときは、私にもきちんと理由があるの。年を取っても仲良くして。一緒にいる時間を大切にしましょう・・・。

友達は、あらためては言わないけれど、きっと、こうした願いをもっているのではないのでしょうか。

しかし、友達に限らず、相手のことをどれだけ考えているのか？何を喜び、何を悲しみ、何を欲し、何を嫌がっているのか。子どもたちは相手の心をよく分かっていない、よく分かろうとしていないことが多いように思うことがあります。

授業中、友達の発表を聞いていない。先生が話すことを聞いてない。関係のないことを話し出す。やるべきことに一生懸命取り組まない。こうした姿が少なくありません。

このように、自分の都合で動き、他のことを思いやることができない姿を目の当たりにするとき、同じ時間を過ごす友達や先生は居るには居るけれど、決して、相手の心を見つめてはいないのだと感じるので

す。きっと誰だって、私の気持ちを理解し、一緒に居る時間を大切にして幸せな時間にしなさいという心をもっているはずなのに。

人の心は見ようとしないうり見えません。その助けとなるのが、この10の約束ではないかと思うのです。その約束は、友達の心を知る助けとなります。そして、同時に、このことは、親や地域の方が子どもにする約束でもあり、子どもが親や地域の方にする約束でもあろうと思うのです。

人の心は見えないからこそ、このような約束事を交わし、見る努力をしなくてはならないのだと、最近、強く思います。

7月。1学期の最後の月となりました。いわゆる「まとめの月」です。学習面に限らず、生活面も合わせ、現在出来ていることは何か。出来ていないことはどんなことか。それぞれ、しっかりと自分の姿を見つめ、出来ていることを今以上に、出来ていないことは出来るように努力し、1学期を締めくくって欲しいと思います。御家庭におかれましても、声掛けをしていただき、親子で話題にしていればと願います。



6月の「長崎(虹)っ子の心を見つめる教育週間」では、御多用の中に御来校いただきまして、誠にありがとうございました。今後とも、子どもたちのよりよい成長のため、虹が丘小学校が「うるとらはっぴい!」な学校となるため、保護者の皆様、地域の皆様のお力をお貸しいただきますようお願い申し上げます。